

笠岡バイパス



期待される効果

・笠岡バイパス周辺では、工場が多く分布し、原材料調達や製品輸送等に一般国道2号が利用されています。高規格道路「倉敷福山道路」の一部を担う、笠岡バイパス及び玉島・笠岡道路の整備により、所要時間の短縮が図られるとともに輸送の定時性が向上するなど、物流の効率化が期待されます。



・笠岡地区消防組合管内では、令和5年に約4,000件以上の救急搬送があり、そのうち約半数が管外の医療機関へ収容しています。笠岡バイパスの整備により、寄島総合支所から福山市民病院までの所要時間が短縮することが期待されます。



国土交通省 中国地方整備局

岡山国道事務所

〒700-8539 TEL 086-214-2220 (代)

津山出張所 〒708-0873

岡山維持出張所 〒700-0942 岡山市南区豊成2丁目11-36

玉島維持出張所 〒713-8103 倉敷市玉島乙島5656



笠岡バイパス

事業概要

一般国道2号笠岡バイパスは、笠岡市内の交通混雑を解消すると共に笠岡市の社会・経済活動を支援することを目的として計画された、笠岡市西大島新田から笠岡市茂平に至る延長7.6kmの道路です。

笠岡バイパスは倉敷市と広島県福山市を結ぶ高規格道路の一部を構成する道路に指定されており、沿道地域の活力向上等を目的としています。

交通混雑の状況



写真 浜中交差点(東方面を望む) R3.2.19

高規格道路「倉敷福山道路」



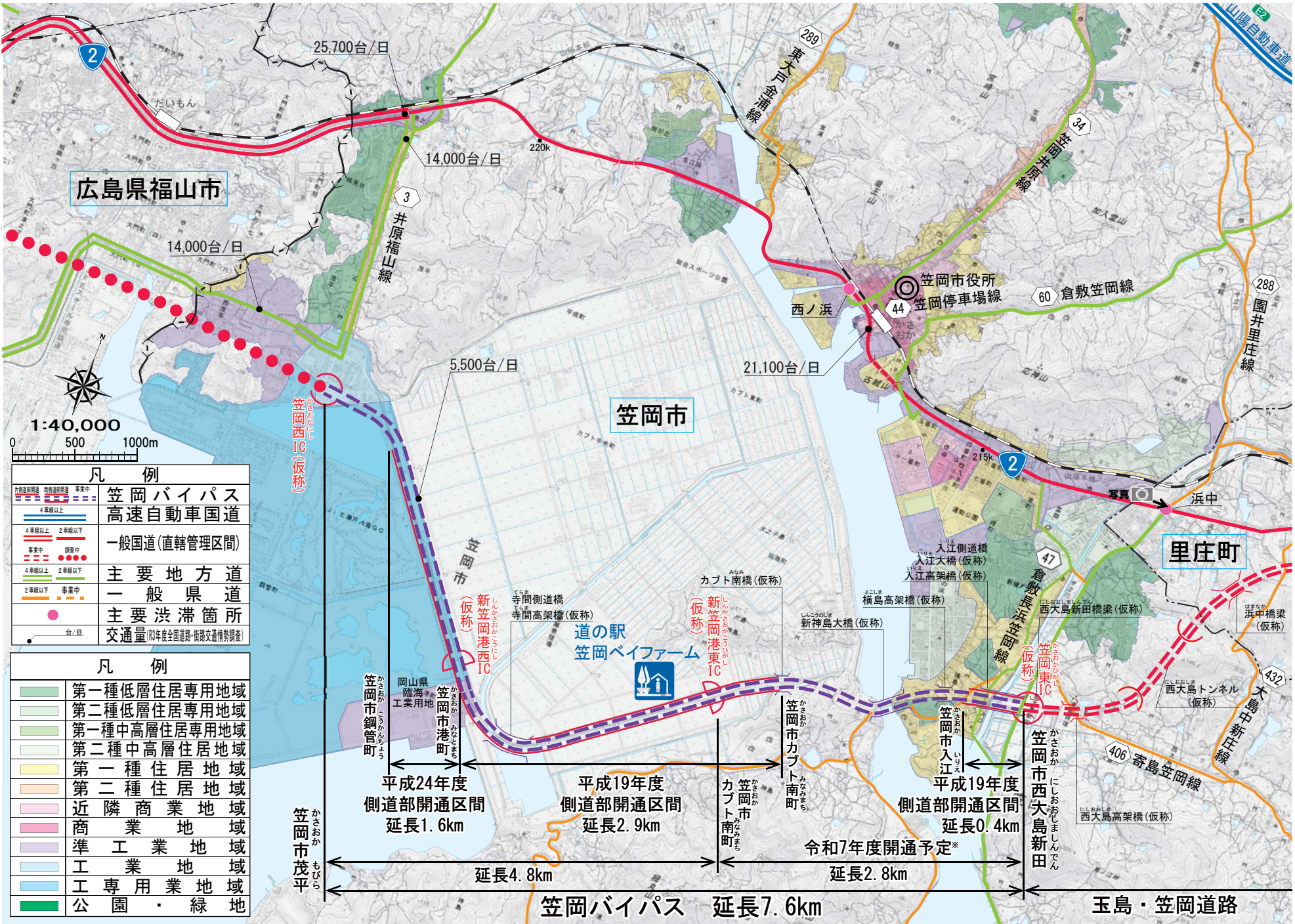
※高規格道路とは、人流・物流の円滑化や活性化によって我が国の経済活動を支えるとともに、激甚化・頻発化、広域化する災害からの迅速な復旧・復興を図るため、主要な都市や重要な空港・港湾を連絡するなど、高速自動車国道を含め、これと一体となって機能する、もしくはそれらを補完して機能する広域的な道路ネットワークを構成し、地域の実情や将来像(概ね20～30年後)に照らした事業の重要性・緊急性や、地域の活性化や大都市圏の機能向上等の施策との関連性が高く、十分な効果が期待できる道路です。

計画諸元

路線名	一般国道2号 笠岡バイパス
区間	(起点) 岡山県笠岡市西大島新田 (終点) 岡山県笠岡市茂平
延長	7.6km
道路規格	第1種第3級
車線数	4車線
設計速度	80km/h

経緯

昭和59年度	ルート承認
昭和63年度	都市計画決定(昭和63年8月30日) 事業着手
平成2年度	用地着手
平成6年度	地域高規格道路倉敷福山道路が「計画路線」に指定
平成8年度	地域高規格道路・調査区間指定
平成10年度	地域高規格道路・整備区間指定 工事着手
平成19年度	側道開通(入江地区、カブト南地区)
平成23年度	都市計画変更
平成24年度	側道開通(鋼管地区)

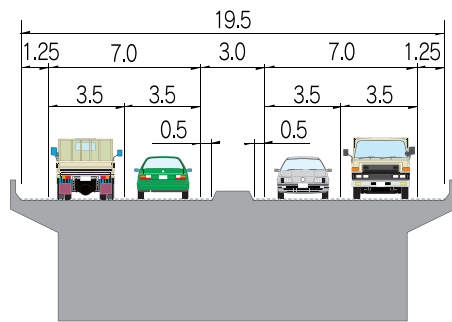


※大規模橋梁工事・軟弱地盤対策工事等が順調に進捗した場合

電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成

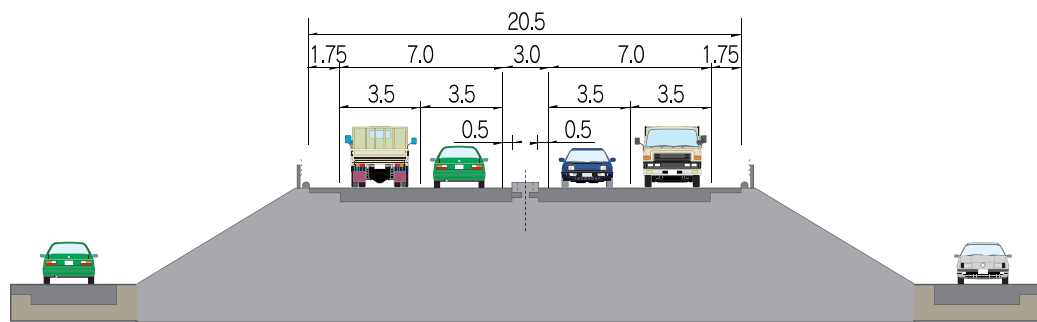
標準断面図

橋梁部



(単位:m)

側道部



(単位:m)